

施設概要



正面（エントランス）

●センター

〒421-3203 静岡市清水区蒲原 5300-5
 電話 / <054>385-5500 (代表)
 FAX / <054>385-5506
 E-mail
 総務課: maibun_somu@pref.shizuoka.lg.jp
 調査課: maibun_tyosa@pref.shizuoka.lg.jp
 ホームページ: <http://www.smaibun.jp>

【開館日】平日(12/29~1/3を除く)
 8月以外の毎月第3土曜日
 【開館時間】9時30分~16時30分 見学無料

※イベントなどはホームページにて案内しています。

展示室1~3では、旧石器時代から江戸時代までの県内各地の出土品を展示。体験学習室では本物の土器や石器を触ることができます。廊下からは整理作業・保存処理作業が見学可能です。



談話コーナー

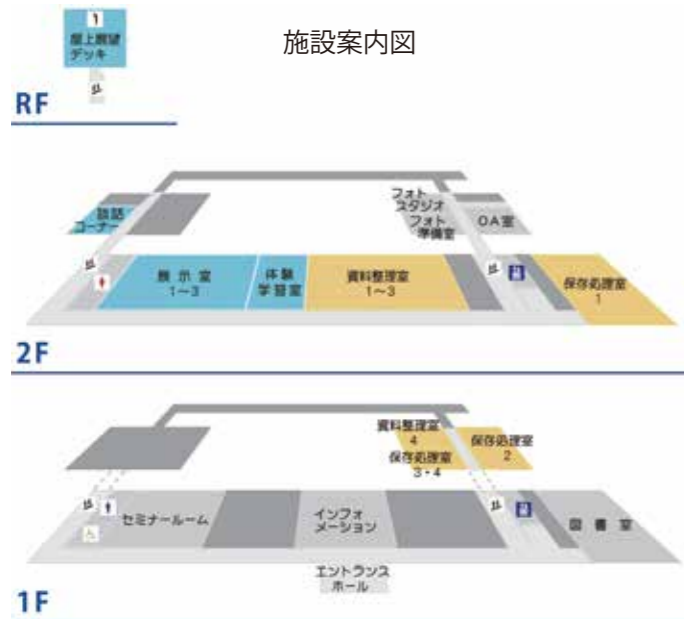


展示室1

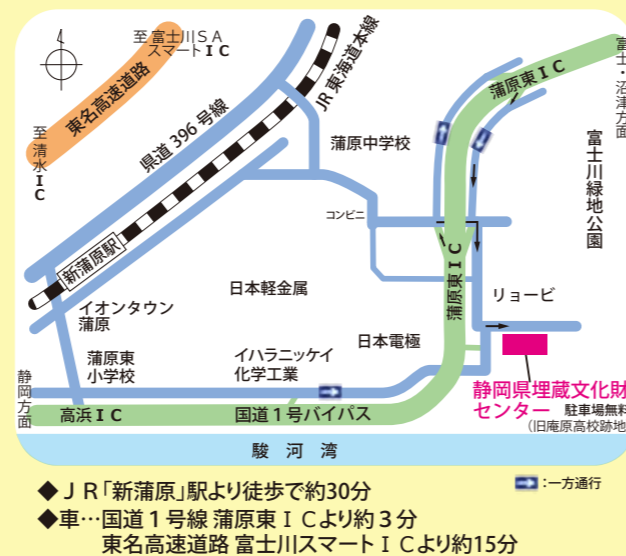


体験学習室

施設案内図



交通アクセス



サテライト展示

静岡県立中央図書館 3階展示室 見学無料、開館は図書館に準じます。

弥生時代の銅鐸が出土した状況をはぎ取った展示のほか、各時代の注目されるテーマや遺跡を取り上げた展示を開催しています。



静岡県埋蔵文化財センター

Shizuoka Prefectural Archaeological Center

要覧

—令和3年度—



沼津市に所在する上原遺跡はJR沼津駅周辺の鉄道高架工事に伴い、令和2年度に発掘調査を行いました。調査の結果、弥生時代のお墓である方形周溝墓、古墳時代の竪穴住居跡などが見つかりました。遺跡の北にはJR東海道線が、その北には江戸時代の東海道が走っています。

事務事業の概要

令和3年度静岡県埋蔵文化財センター事業体系

1 基本方針

静岡県には、約9,100箇所におよぶ埋蔵文化財包蔵地（遺跡）が確認されています。

埋蔵文化財は、地域の豊かな歴史と文化を物語る県民の共有財産であり、地域の歴史や文化に対する憧れや知的好奇心を刺激する学習資源でもあります。

当センターは、県民の歴史的・文化的資産である埋蔵文化財を適切に保護し、地域固有の文化に誇りと愛着を持つ県民意識を育て、文化財の価値を未来につなげていくことを目的として、埋蔵文化財の保存と活用に努めていきます。

2 事業の体系

(1) 埋蔵文化財の保存【守る】

- ア 記録保存調査の実施
- イ 調査報告書の発刊
- ウ 出土品の保存修復

(2) 埋蔵文化財の活用【育てる】

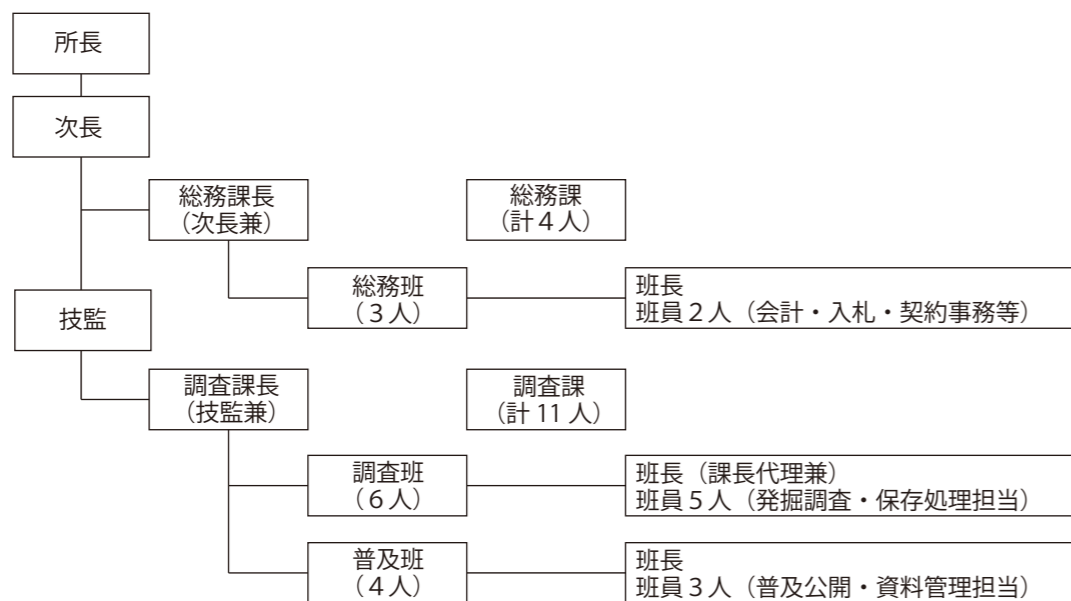
- ア 出土文化財の展示
- イ 埋文セミナー、技術体験講座、体験授業・出前授業等の実施
- ウ 発掘調査現場の現地説明会、遺跡調査報告会、歴史講演会
- エ 学校連携・教材化
- オ ムセイオン静岡など他部局・機関との連携

※ムセイオン静岡・・・静岡市駿河区谷田地域と周辺にある静岡県立大学、静岡県立美術館、静岡県立中央図書館、静岡県埋蔵文化財センター、静岡県舞台芸術センター（SPAC）、グランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター）、ふじのくに地球環境史ミュージアムの7機関による文化発信自主プログラム

(3) 出土文化財の管理【つなげる】

- ア 発掘調査で記録した写真や図面、出土品の保管・管理

組織体制（計16人）



主な事業内容

発掘調査と文化財の保存

現地の発掘作業から出土品や調査記録の整理作業までを行い、その成果を調査報告書にまとめます。

また、出土した金属製品や木製品を科学的に保存処理します。



発掘作業(上原遺跡)



整理作業



発掘調査報告書



保存処理



現地説明会(尾羽廃寺跡)

文化芸術の振興

伝統や歴史に培われた文化財の保護・活用に取り組み、感性豊かな社会の実現を図ります。

出前授業・体験授業、考古学技術体験等を通じて、楽しみながらふじのくに静岡の歴史を学ぶことができます。

また、埋文セミナー、歴史講演会等でふじのくに静岡の歴史を考古学・文化財の専門家わかりやすく説明します。



常設展示や巡回展、発掘調査の現地説明会などを通じて遺跡から出土した文化財を見ることで、ふじのくに静岡の歴史を学ぶ機会を提供します。



センター展示室



考古学技術体験



歴史講演会

フェスタ埋文等での火起こし・勾玉(まがま)づくりなどの体験メニューを通じて古代の暮らしや技術の高さなどを感じる機会を提供します。



体験授業：土器の分類体験



フェスタ埋文：勾玉づくり